

## 第2章 新宿区のみどりを取り巻く環境

### 1. 自然条件

#### 1-1 位置・面積

新宿区の位置図を図2-1に示す。

新宿区は東京23区のほぼ中央に位置し、千代田・港・文京・豊島・中野・渋谷の各区と隣接している。面積は18.22km<sup>2</sup>、周囲約29.4km、東西約6.5km、南北約6.3kmで23区中13番目の広さである。

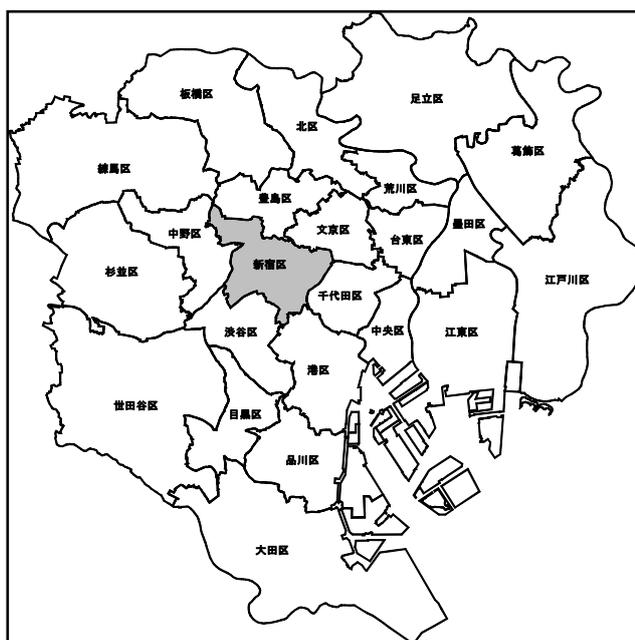


図2-1 新宿区の位置

#### 1-2 地形・地質

新宿区の地形は台地と低地からなり、豊島台地、淀橋台地、下町低地に分けられる。豊島・淀橋台地は四谷・牛込・角筈・柏木・大久保・戸塚・落合などの台地からなり、各台地の間に下町低地が入り組んでいる。区内最高地点は都立戸山公園内箱根山の標高44.6m、台地は平均ほぼ30mの高台で、低地で最も低いのは飯田橋付近の4.2mとなる。

台地部の地層は地表から関東ローム層・武蔵野砂れき層・東京層があり、低地部は埋土の下に沖積層・東京層がある。台地部・低地部とも東京層の下に三浦層群が広がっている。

東京の区部のなかでは高低差が大きいことから、起伏に富んだ地形を形成している。

その斜面上の緑地と、下町低地に沿った神田川、妙正寺川及び外濠などの水面が、新宿区の外周を縁取るように分布している。

### 1-3 気象

新宿区の気象の推移を表 2-1 に示す。

令和 2 年の新宿区を含む東京都区内の平均気温は約 17.3℃、平年降水量は 1,588.5 mm 程度であった。年平均気温は昭和年代では 14～15℃台であったが、近年は 16～17℃台と上昇しており、最高気温も高くなっていることが分かる。

表 2-1 新宿区の気象の推移

年	気温(℃)			降水量 (mm)	雪日数
	平均	最高	最低		
昭和10年	14.1			1656.8	15
20年	13.6			1615.9	20
30年	15.5			1553.9	6
40年	14.6	35.0	-4.7	1596.0	9
50年	15.6	35.6	-2.6	1540.5	8
60年	15.7	35.0	-2.5	1516.5	6
平成元年	16.4	33.5	0.9	1937.5	4
5年	15.5	32.9	0.7	1872.5	8
10年	16.7	36.1	-0.8	1546.5	11
15年	16.0	34.3	-0.8	1854.0	10
20年	16.4	35.3	-0.1	1857.5	9
25年	17.1	38.3	-1.4	1614.0	5
27年	16.4	37.7	-2.4	1781.5	11
28年	16.4	37.7	-2.6	1779.0	6
29年	15.8	37.1	-2.3	1430.0	7
30年	16.8	39.0	-4.0	1445.5	11
令和元年	16.5	36.2	-1.2	1874.0	6
2年	17.3	37.3	-2.1	1588.5	6

東京管区気象台より

### 1-4 動植物

新宿区の動植物の種類数を表 2-2 に示す。

区内には都市環境に適応した特定の生きものが広く生息している。新宿御苑、都立戸山公園、区立おとめ山公園、点在する社寺林、外濠等の古くから残された環境もあり、多くの生きものが生息している。現地調査、ヒアリング調査及び文献調査で確認された種は表 2-2 のとおりである。

表 2-2 新宿区の動植物の種類数

種 別	全確認種	注目すべき種	外来種
植 物	711 種	28 種	111 種
哺乳類	6 種	1 種	1 種
鳥 類	120 種	45 種	3 種
両生・爬虫類	17 種	13 種	4 種
昆虫類	743 種	20 種	22 種
魚 類	26 種	4 種	8 種
底生生物	49 種	8 種	5 種

「新宿区生き物調査委託報告書(平成 29 (2017) 年 3 月 新宿区)」より

## 1-5 みどりの変遷

### (1) 江戸時代末期

市谷、四谷、牛込地区には社寺や武家屋敷が形成され、社寺林や屋敷林としてみどりを創出していた。また、甲州街道や青梅街道には、当時、産業道路としての機能を有し、沿道の商家の屋敷が建ち並び、街並を構成していた。

大久保、角筈、戸塚、落合、早稲田の各村々は、当時江戸 100 万人の大消費地を支える農村地帯となっていた。

### (2) 明治・大正時代

明治政府誕生後、大久保や戸塚、四谷等の尾張上屋敷や下屋敷の大部分は陸軍関係の学校や軍の所有地に変わるなど、国の所有地になったところが多く、これらのみどりのオープンスペースとして残された。その他の武家屋敷は所有者が変わり、美しかった庭園や屋敷林は消失した。

一方、農村地帯の落合、淀橋、早稲田の地域は道路の構築や鉄道の整備により市街化が進んだ。特に関東大震災を契機として、大量の人口が移動し、商工業地と住宅地に変貌し、かつての農村の面影がなくなっていった。

### (3) 昭和時代

その後、さらに鉄道が整備され市街化が進み、樹林が減少した。第二次世界大戦中は住宅の敷地内の木は伐採され燃料に使われ、度重なる戦災によって家屋とともに立木は燃え、みどりはますます少なくなっていった。

その後、都市公園法の制定により防災や区民のレクリエーションの視点から、都立戸山公園や新宿中央公園等の大規模な公園、身近な公園としての児童公園が整備された。

### (4) 平成時代

まとまりのあるみどりは、斜面沿いと旧社寺地（落合、戸塚地域）、大名庭園の面影を残す新宿御苑や区立甘泉園公園、大規模施設（旧軍用地の転用地、戸山地域）、旧武家地（市谷、四谷、若松地域等）に残されてきたみどりと、郊外住宅地にはぐくまれてきたみどり（落合地域）、近年の開発で創出されたみどり（新都心地域）等によって構成されている。

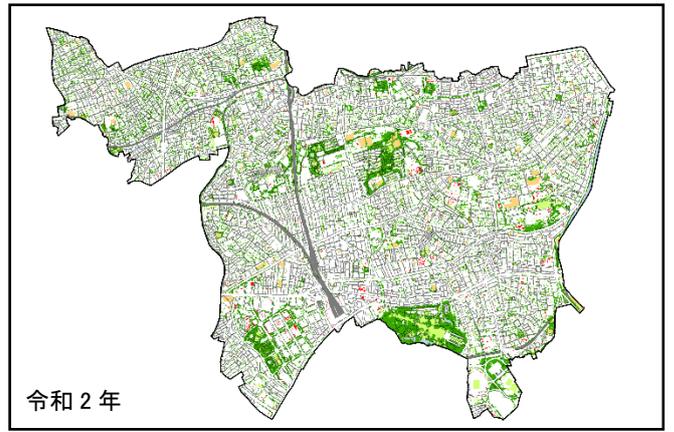
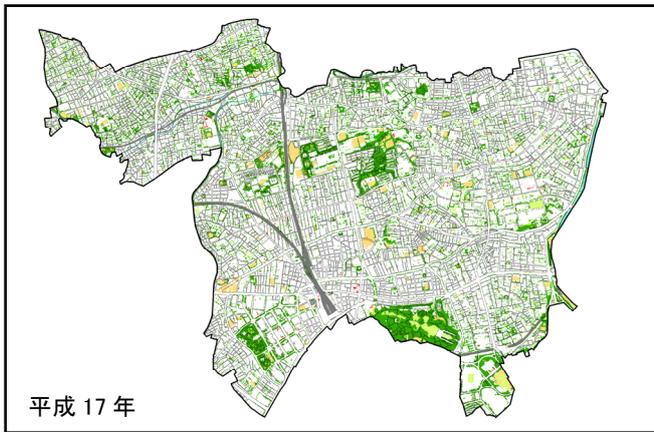
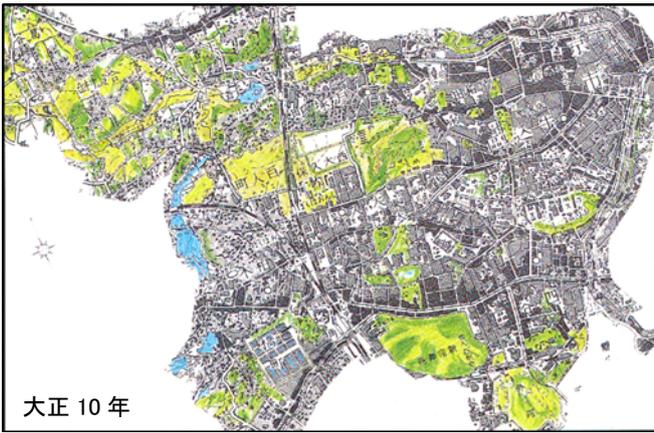
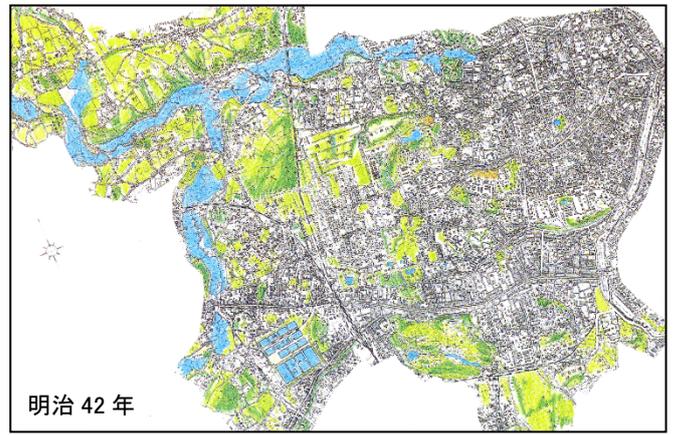
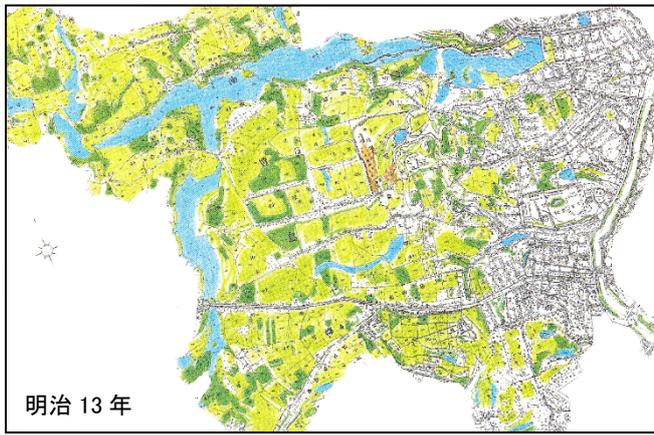


図 2-2 新宿区のみどりの変遷  
 (明治、大正は「新宿区史」平成 10 年 3 月  
 平成、令和は「みどりの実態調査」より)

## 2. 社会条件

### 2-1 人口

令和2年10月1日現在の新宿区の人口は344,579人で、世帯数は218,404世帯である。

新宿区の夜間人口及び昼間人口の推移を図2-3に示す。

国勢調査による夜間人口は、昭和40年の413,910人をピークにして減少傾向にあったが、平成7年より増加に転じ平成27年では333,560人となっている。また、昼間人口は平成2年から微減傾向であったが、平成27年は775,549人と増加に転じている。

新宿区の年齢別住民基本台帳人口の推移を図2-4に示す。

年代別人口の推移をみると、20歳代前半以下の人口が急激に減少し、60歳代後半以降の人口が増加しており、少子高齢化が進んでいる。また、14歳以下では平成22年よりも令和2年が増加している。子育て世代といわれる20歳代後半から40歳代の人口も多いことが分かる。

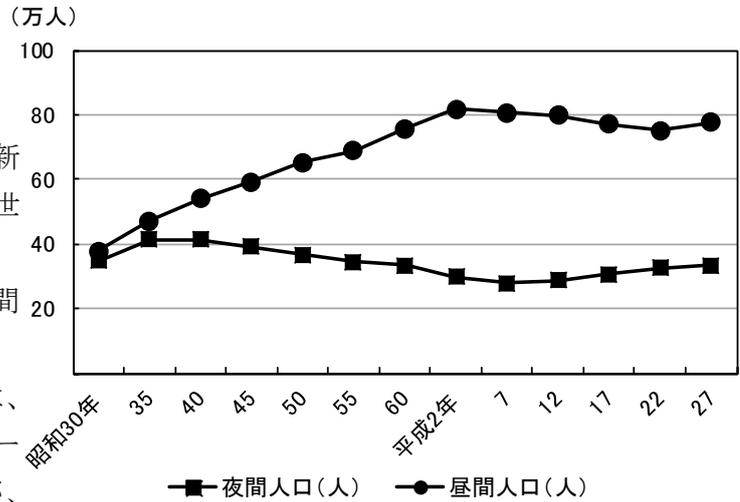


図2-3 新宿区の夜間人口及び昼間人口の推移  
(各年10月1日現在)

新宿の統計(令和2年)及び  
総務省統計局「平成27年国勢調査報告」より

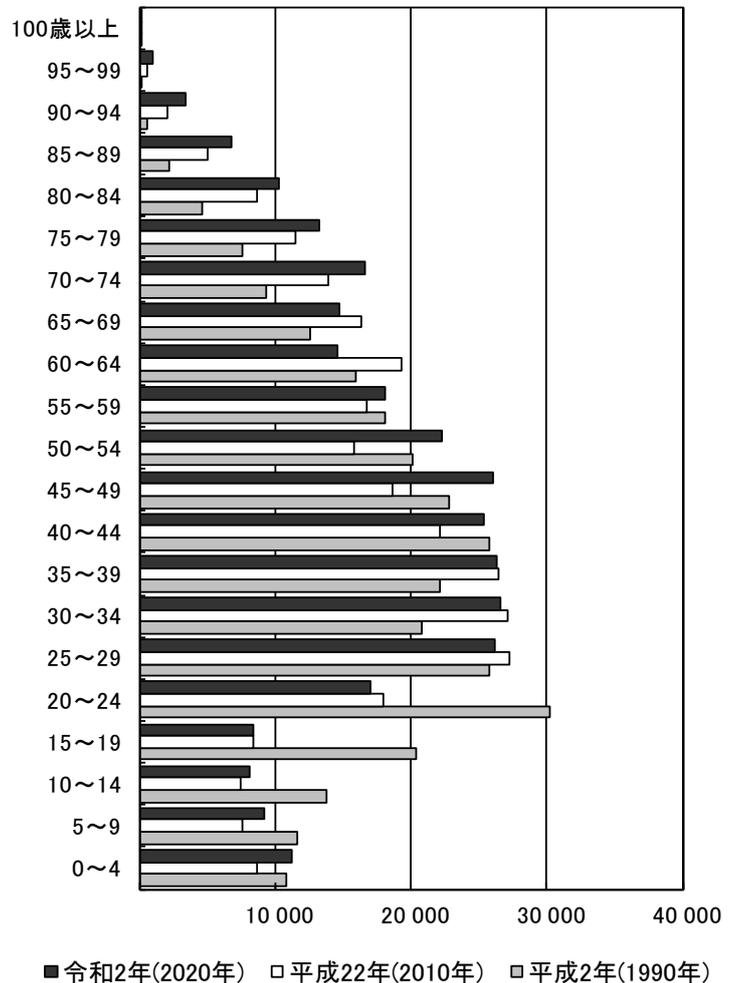


図2-4 新宿区の年齢(5歳階級)別  
住民基本台帳人口の推移

(日本人のみ・各年1月1日)

新宿区の統計(令和2年)より

## 2-2 土地利用

新宿区の土地利用類型を図 2-5 に示す。

新宿駅周辺をはじめ、高田馬場駅、四ッ谷駅、飯田橋駅など鉄道駅周辺や幹線道路沿いで商業・業務施設の立地が進んでいる。区内北部を流れる神田川沿いでは印刷製本業などの工業系施設が立地している。西新宿では副都心街区の超高層ビルの立地が特化し、その周辺では再開発事業等による都市の更新が行われている。その他の区内の地域では、住宅、公園、緑地、文教施設などの土地利用が主となっている。また、平成 23 年度土地利用現況では工業用地であったが、平成 28 年度では商業用地等に変更されている箇所を確認できる。

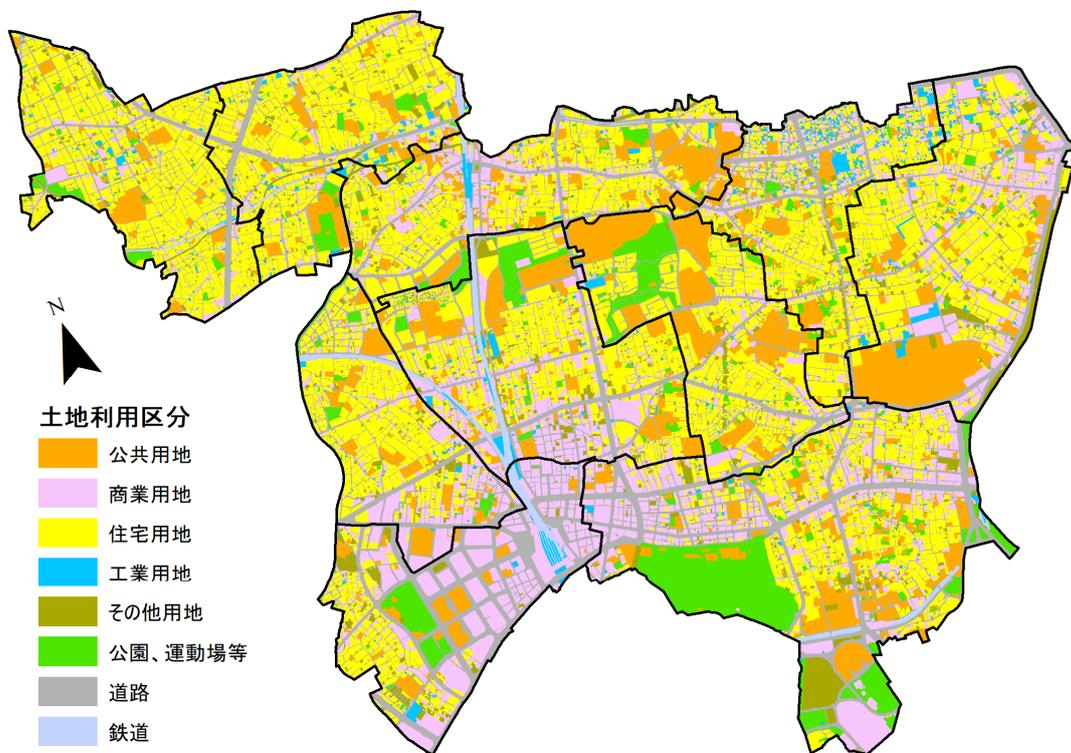


図 2-5 土地利用類型

平成 28 年度土地利用現況データより

平成23年と平成28年の東京都土地利用現況調査結果による新宿区の用途別建築面積比率の変化を図2-6に示す。

独立住宅は平成23年度の21.8%から平成28年度の21.5%に減少し、集合住宅が30.9%から32.4%に増加した。独立住宅、住商併用建物、事務所建築物、工業用地等から集合住宅に用途が変更していると考えられる。

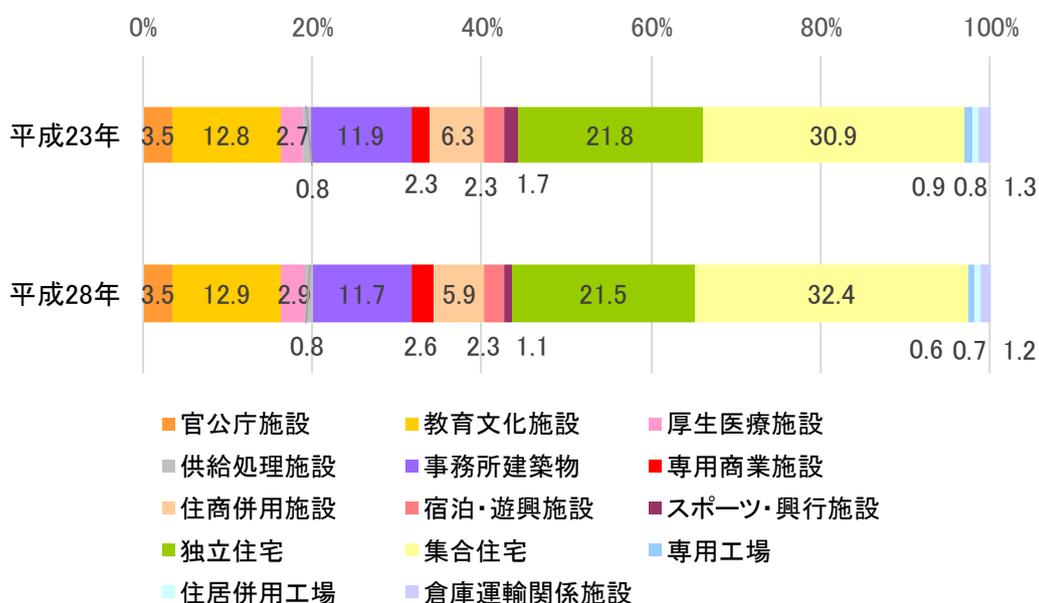


図2-6 新宿区用途別建築面積比率の変化

\*東京の土地利用 平成23年東京都区部、平成28年東京都区部を基に作成

## 2-3 公園

### (1) 現況

区内の公園状況を表 2-3、図 2-7 に示す。

区内の公園は 189 箇所、総面積 1,163,889 m<sup>2</sup>で、区全域の 6.4%であった。

そのうち、新宿御苑と明治神宮外苑が公園面積の約半分を占めている。新宿御苑、都立戸山公園、区立おとめ山公園及び区立甘泉園公園などは江戸時代末期の地形をほぼそのまま残し、また植栽構成も多様であり、生物の生息環境の面からも貴重な場所となっている。

表 2-3 区内の公園状況

(令和 2 年 4 月 1 日現在)

名称	箇所数	面積 (m <sup>2</sup> )	区の総面積に占める率 (%)	区民 1 人当たりの面積 (m <sup>2</sup> )	備考
国民公園等	2	593,011	3.25	1.71	新宿御苑 383,901m <sup>2</sup> 明治神宮外苑 209,110m <sup>2</sup>
都立公園	1	186,472	1.02	0.54	戸山公園 186,472m <sup>2</sup>
区立公園等	公園等	121	340,659	1.87	妙正寺川公園 3,983m <sup>2</sup>
	児童遊園	57	24,126	0.13	
	遊び場	6	3,114	0.02	
	小計	184	367,900	2.02	
他区立公園	2	16,505	0.09	0.05	外濠公園 12,818m <sup>2</sup> 哲学堂公園 3,687m <sup>2</sup>
合計	189	1,163,889	6.38	3.35	

\*各公園面積は令和 2 年 4 月 1 日現在の新宿区内に位置する面積とする。

\*人口は令和 2 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口及び外国人登録人口 (347,570 人)

\*面積は小数第 1 位を四捨五入しているため合計値とあわない場合がある。

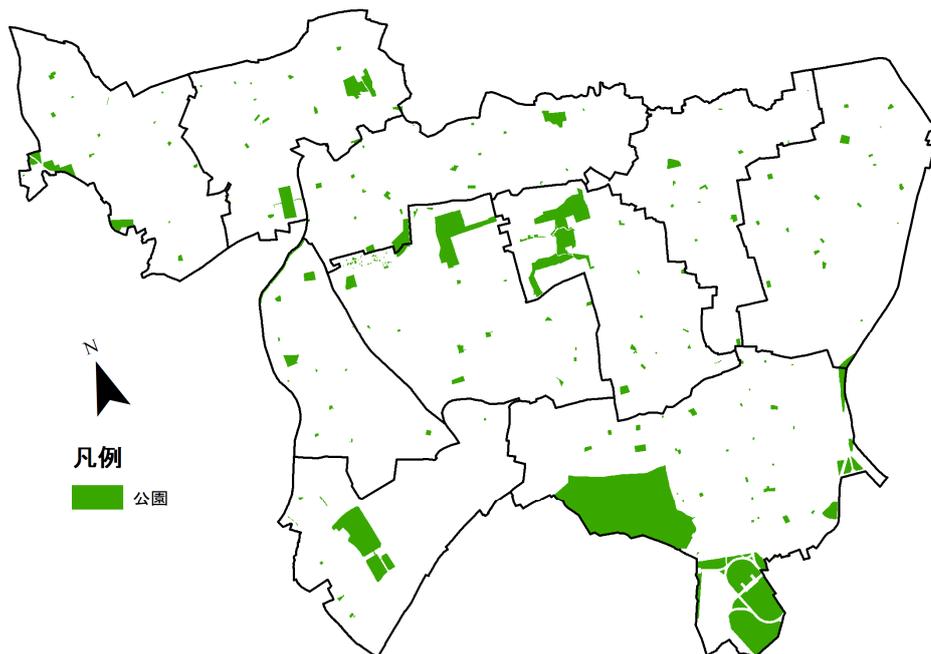


図 2-7 公園分布図

(2) 地域別分布

地域別の公園の分布状況は表 2-4 のとおりである。

新宿御苑、明治神宮外苑のある四谷地域、都立戸山公園（箱根山地区）のある若松地域、都立戸山公園（大久保地区）のある大久保地域の公園面積が大きく、3地域で公園全体の約 75%を占めている。

表 2-4 地域別・公園種別敷地面積

上段：面積（㎡） 下段：箇所数

地域	国民公園等	都立公園	区立公園等			他区公園	合計
			公園等	児童遊園	遊び場		
四谷地域	593,011	0	37,613	4,446	2,133	12,818	650,021
	2	0	19	13	2	1	37
笹笹地域	0	0	15,147	1,865	80	0	17,092
	0	0	13	4	1	0	18
榎地域	0	0	12,586	1,712	0	0	14,299
	0	0	7	5	0	0	12
若松地域	0	109,314	7,073	4,528	0	0	120,915
	0	※1	4	8	0	0	13
大久保地域	0	77,158	22,678	3,106	0	0	102,943
	0	※1	29	5	0	0	35
戸塚地域	0	0	45,139	2,795	0	0	47,934
	0	0	12	7	0	0	19
落合第一地域	0	0	59,888	829	667	0	61,385
	0	0	14	2	2	0	18
落合第二地域	0	0	31,565	1,254	233	3,687	36,739
	0	0	10	5	1	1	17
柏木地域	0	0	19,409	1,086	0	0	20,495
	0	0	9	4	0	0	13
新宿駅周辺地域	0	0	89,561	2,505	0	0	92,066
	0	0	4	4	0	0	8
区 全 体	593,011	186,472	340,659	24,126	3,114	16,505	1,163,889
	2	1	121	57	6	2	189

\*都立戸山公園は若松地域と大久保地域の2地域に位置するため、都立公園の合計箇所数は1箇所となる。

\*面積は小数第1位を四捨五入しており、合計値とあわない場合がある。

### (3) 推移

平成27年度（第8次）と令和2年度（第9次）の公園の推移は表2-5のとおりである。

都立公園では明治公園が新国立競技場の建設等により再編されることとなったため、令和2年度（第9次）では1箇所の減少、公園面積は29,145 m<sup>2</sup>の減少となった。

区立公園等では、公園等が3箇所増加、児童遊園が2箇所減少、遊び場が2箇所減少した。面積では区立公園等全体で1,542 m<sup>2</sup>の増加であった。

区民1人当たりの公園面積は、平成27年度が3.56 m<sup>2</sup>であったが令和2年度は3.35 m<sup>2</sup>となった。都立明治公園の減少と人口の増加が減少の要因である。

なお、都市公園等の1人当たり公園面積は、東京都では約5.7 m<sup>2</sup>/人である（令和2年4月1日現在 東京都公園調書による）。

表 2-5 新宿区の公園の推移

種 別		箇所数	面積 (m <sup>2</sup> )	区の総面積に 占める率(%)	区民1人当たり の面積(m <sup>2</sup> )	
国民公園等	平成27年度	2	593,011	3.25	1.77	
	令和2年度	2	593,011	3.25	1.71	
都立公園	平成27年度	2	215,617	1.18	0.64	
	令和2年度	1	186,472	1.02	0.54	
区立公園等	公園等	平成27年度	118	337,207	1.85	1.01
		令和2年度	121	340,659	1.87	0.98
	児童遊園	平成27年度	59	25,806	0.14	0.08
		令和2年度	57	24,126	0.13	0.07
	遊び場	平成27年度	8	3,345	0.02	0.01
		令和2年度	6	3,114	0.02	0.01
	小計	平成27年度	185	366,358	2.01	1.09
		令和2年度	184	367,900	2.02	1.06
他区立公園	平成27年度	2	16,505	0.09	0.05	
	令和2年度	2	16,505	0.09	0.05	
合計	平成27年度	191	1,191,491	6.54	3.56	
	令和2年度	189	1,163,889	6.38	3.35	

\*面積は小数第1位を四捨五入しており、合計値とあわない場合がある。